

# 平成30年度の長周期地震動に関する 普及啓発の取り組みについて

# 長周期地震動に関する普及啓発の取組について

H28年度報告書より

長周期地震動の特徴や長周期地震動階級の認知度の向上  
家具類の転倒・落下・移動防止対策等、事前対策の推進

(H29.3「長周期地震動に関する情報検討会平成28年度報告書」)

長周期地震動の影響を受けやすい高層ビルが集中している三大都市圏（首都圏・中京圏・近畿圏）を中心に、長周期地震動に関する情報を活用するための普及・啓発活動を実施。

## 【これまでの取組例】

- 普及啓発用コンテンツの作成  
（リーフレット・ビデオ等）
- 各種防災イベントでの講演・ブース  
出展等
- リーフレット・ポスターの配布
- 公共機関等の広報誌への記事掲  
載の働きかけ

など



長周期地震動説明ビデオの作成



リーフレットの作成



東京消防庁との連携による  
ポスター作成



体験型防災啓発イベント  
「大地震へのソナエ」



気象庁HPでの解説ページの充実

# 平成30年度の普及啓発の取組例



防災イベントでのセミナー・フォーラム等での講演



防災イベントへのブース出展



南海トラフ地震  
地域「防災・減災」シンポジウム  
(名古屋・和歌山・徳島)

長周期地震動については、  
南海トラフ地震に関する普  
及啓発とセットで実施するこ  
とも実施。



政府インターネットテレビで  
広報動画を公開



(地震本部ニュース)



(気象友の会)

関係機関の広報誌への執筆

- ・6/18の大阪府北部の地震に関して、高層ビルの事業者を対象としたアンケートへの協力依頼時に資料を持参して解説するなど普及啓発活動を実施。
- ・三大都市圏以外のエリアにおいても、様々な機会を捉え、講演、研修で長周期地震動の説明、パンフレットの配布、パネル展示等の普及啓発の取組を実施した。